

製品名: PDLIM5 (リン酸化 Tyr251) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05236**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	64kDa

抗原情報

遺伝子名	PDLIM5
別名	PDLIM5; ENH; L9; PDZ and LIM domain protein 5; Enigma homolog; Enigma-like PDZ and LIM domains protein
遺伝子 ID	10611.0
SwissProt ID	Q96HC4
免疫原	ヒト PDLIM5 のリン酸化部位 (リン酸化 Tyr251) 周辺の合成リン酸化ペプチド

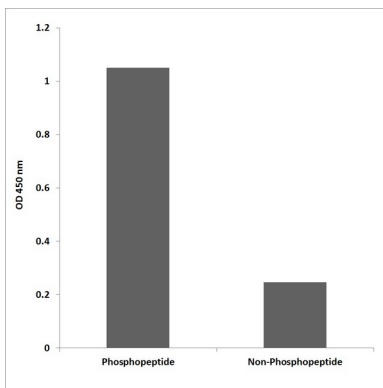
背景

この遺伝子は、N 末端に 100 アミノ酸からなる PDZ ドメイン、C 末端に 1~3 個の LIM ドメインを有するタンパク質ファミリーのメ

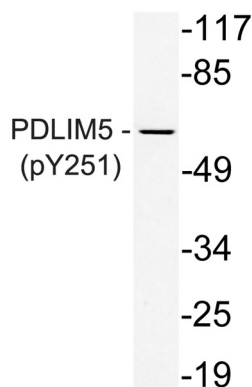
ンバーをコードしています。このファミリーメンバーは、横紋筋においてタンパク質キナーゼを Z ディスクに繫留する足場タンパク質として機能します。心筋細胞の増殖と興奮性シナプスのシナプス後成長の抑制に機能すると考えられています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2012 年 1 月]、注意：ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備的なデータとして考慮する必要があります。、疾患：統合失調症の遺伝的感応性に関連している可能性があります。PDLIM5 は、双極性障害、統合失調症、および重度のうつ病患者の脳で一般的に増加しています。、機能：PKC を Z ディスク領域に足場として配置することで、心臓の発達に重要な役割を果たす可能性があります。、類似性：1 つの PDZ (DHR) ドメインを含みます。、類似性：3 つの LIM 亜鉛結合ドメインを含みます。、サブユニット：LIM ドメインを介して様々な PKC アイソフォームと相互作用します。PDZ ドメインを介してアクチンおよび α -アクチニンと相互作用します。、組織特異性：心臓および骨格筋特異的です。、

研究分野

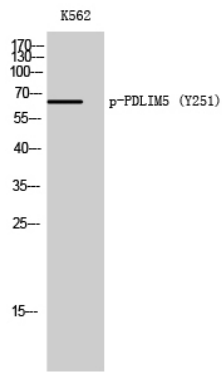
画像データ



PDLIM5 (リン酸化 Tyr251) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



リン酸化 PDLIM5 (リン酸化 Tyr251) 抗体を用いた K562 細胞溶解液のウエスタンブロット解析。



リン酸化PDLIM5 (Y251) ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析